＊下記の太字のところを一緒に声を合わせましょう。
＊座席（ざせき）とマスクはご自由（じゆう）にどうぞ。

2026年　１１月　１５日　主日礼拝（10:15）

司式：IK長老　　奏楽：KH

≪神のみ前に近づく≫

前　　奏
招　　詞（ヴォタム）
わたしたちの助けは、天と地を造られた神からきます。
アーメン。

あいさつ
主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりが、あなたがたとともにありますように。
そして、また、あなたとともにありますように。
アーメン。

讃　美　歌　　１２７－１節（み恵みあふれる）

罪の告白　（声を張り上げないで共に祈ります）

父なる神さま、深まりゆく秋の日々の中、私たちの歩みを支えてくださり深く感謝します。すべてのものを、私たちに必要なものとして、あなたから賜（たまわ）っているにもかかわらず、不足や不満、限界ばかりに目が行ってしまう、私たちの愚かさや未熟さを憐み、赦してください。あなたの導きを信じ、主を仰ぎ生きていけますように。特に、あなたの支えと癒しを必要としておられる方々の上にあなたの祝福が満ち溢れますように。
主よ、この世界の平和のためにも切に祈ります。混乱する世界へ救いのみ手をくだしてください。あきらめずに祈っていくことが出来ますように。

「わが子よ、わたしの言うことを守り、
戒めを心に納めよ。戒めを守って、命を得よ。
わたしの教えを瞳（ひとみ）のように守れ。
それをあなたの指に結び、
心の中の板に書き記せ。」　（箴言7:1～3）
＊しばらく黙祷の時をもちます。
主よ、私たちの心と体を生き返らせ、喜びで満たしてください。御名によって祈ります。アーメン。

讃　美　歌　　３２（キリエ）＝座ったまま

赦しの確認と保証　（司式者のみ）
＊主の赦しと慰めの言葉をお聞きください。
アーメン。

讃　美　歌　　２２３－１～４節（造られたものは）

≪神のみ言葉の宣教≫

聖　　書
創世記　３２章２３～３１節（旧p56）
これは神の言葉です。
神に感謝します。
ルカによる福音書　１０章１７～２０節
（新p126）
これはキリストの福音です
主なるキリストを賛美します。

み言葉を求める祈り（司式者）

讃　美　歌　　２２３－５～７節（造られたものは）

説　　教　『ルカ91 ― 名前の大事さについて』

祝福の祈り　　武田　真治 牧師

≪神への応答≫

讃　美　歌　　４５１（くすしきみ恵み）
信仰告白　　（使途信条＝讃美歌 ９３-４-１）
平和の挨拶　（握手せずその場から）
献　　金　　奉仕者：MR　MY
とりなしの祈り（司式者）
主の祈り　　９３－５　＝ともに祈りましょう
報　　告
讃　美　歌　　９２－１節（主よ、わたしたちの主よ）
祝　　祷　　武田　真治 牧師
後　　奏
報告と退場

受付：KN　YS　　礼拝：IK長老

◇本日の礼拝と集会

・本日礼拝前に日曜学校礼拝と分級、はこぶねルーム、聖書輪読会。礼拝後、牧師と語る会とお茶の会、その後、聖歌隊練習、オリブの葉編集委員会、日曜学校教師会が持たれます。午後３時より関東改革長老協議会主催「公開講演会」が大宮教会で持たれます。「教会協力と実践」講師：吉川良師（三崎町教会）
・受付で「災害支援募金」募っています。ご協力を！

◇次週の礼拝と今後の予定、お知らせ

・次週礼拝「謝恩日礼拝」です。礼拝献金を隠退教師を支えるために献げます。礼拝前に日曜学校、聖書輪読会とはこぶねルーム。礼拝後、お茶の会と牧師と語る会、その後、聖歌隊練習と各委員会と園理事会。
・11月17日午前10時半より「ハンナの会」です。
・11月29日「アドヴェント音楽祭」午後1時半より持ちます。参加希望の方は曲目を武田牧師まで。
・11月29日（日）から待降節第一週となります。クリスマス礼拝（12月20日）に、洗礼・幼児洗礼・入会を考えておられる方は牧師にお申し出ください。

◇長老会の報告（おもなもの）

＊本日配布の『長老会報告』をお読みください。

①12月20日クリスマス礼拝後に愛燦会を幼稚園の新しい保育室で催す方向で検討して行きます。
②「燭火礼拝」12月24日（木）午後6時半より。
③園二期工事説明会を11月29日礼拝後持ちます。
④１月１日（金）「元日礼拝」午前11時より持ちます。

◇上尾富士見幼稚園より

・昨週から新入園児個人面接を牧師と主任で行っています。二期工事に向け大移動が始まります。

◇個人消息

・HKさん　9日召天され（93歳）14日上尾斎場つつじ苑にて武田牧師司式にてご葬儀が献げられました。ご遺族の上に主の御慰めを祈ります。

◇牧師予定 16～19日園お迎えと掃除 17日ハンナ 18日祈会 19日祈会 20日工事打合せ 21日掃除他

＜武田より＞・５日にKさんのお見舞いをさせて頂いたばかりでした。枕元で讃美し祈りを献げたことでしたが、最後のお別れになってしまいました。